

1. 日米株式と円/ドルの推移



(注)チャートは過去1年

	単位	2017/12/29	2018/9/28	2018/10/5	過去3年高値		過去3年安値	
		(前年末)	(前月末)	(前週末)	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	22,764.94	24,120.04	23,783.72	24,448.07	2018/10/2	14,864.01	2016/6/24
NYダウ	ドル	24,719.22	26,458.31	26,447.05	26,951.81	2018/10/3	15,450.56	2016/1/20
円/ドル	円	112.69	113.70	113.72	123.76	2015/11/18	99.02	2016/6/24

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

～ 週前半は円安ドル高の進行を受けて堅調に推移したものの、週後半は米国長期金利の急騰を受けて下落 ～

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が▲336.32円(▲1.39%)、TOPIXが▲24.60ポイント(▲1.35%)となり、週前半は円安ドル高の進行を受けて堅調に推移したものの、週後半は米国長期金利の急騰を受けて下落しました。業種別(東証33業種)にみると、卸売業、銀行業、石油・石炭製品など9業種が上昇する一方、不動産業、空運業、情報・通信業など24業種が下落しました。

週明けの1日は、114円近傍まで円安ドル高が進んだことや米国とカナダがNAFTA(北米自由貿易協定)再交渉で妥結したことなどを受けて上昇して始まりました。2日も、前日の米国株市場が堅調に推移したことを受けて一段高となり、日経平均は一時24,448.07円をつけ年初来高値を更新しました。しかしその後週末にかけては、①イタリア債務問題への懸念が再燃したこと、②米国株市場が米国長期金利の急騰を受けて下落したこと、③円高ドル安が進んだことなどから、軟調に推移しました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目	前回
10月9日	Tue	日本	国際収支:経常収支	8月 20097億円
			貿易収支(国際収支ベース)	8月 -10億円
			景気ウォッチャー調査現状	9月 48.7
			景気ウォッチャー調査先行き	9月 51.4
10月10日	Wed	日本	機械受注(前月比)	8月 11.0%
		米国	PPI(生産者物価指数)(除食品・エネルギー/前年比)	9月 2.3%
10月11日	Thu	日本	30年利付国債入札	
			国内企業物価指数(前年比)	9月 3.0%
		米国	CPI(消費者物価指数)(除食品・エネルギー/前年比)	9月 2.2%
		国際	G20(20か国・地域)財務相・中央銀行総裁会議(バリエ、12日まで)	
10月12日	Fri	日本	第3次産業活動指数(前月比)	8月 0.1%
		米国	ミシガン大学消費者信頼感指数	10月 100.1
		国際	IMF(国際通貨基金)・世界銀行年次総会(バリエ、14日まで)	

決算発表予定 他	日本	決算発表 : 10/10 久光製薬、安川電機 10/11 ユニー・ファミリーマートホールディングス、セブン&アイ・ホールディングス、ローソン、ファーストリテイリング 10/12 東宝
	海外	決算発表 : 10/12 JPMorgan・チェース・アンド・カンパニー、ウェルズ・ファargo、シティグループ

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

～ 米国長期金利の上昇に対する警戒感から売り圧力が残るものの、業績上方修正や経済対策への期待などから反発に転じる展開 ～

今週の日本株市場は、米国長期金利の上昇に対する警戒感から売り圧力が残るものの、①先週末に発表された9月の米国雇用統計で平均時給(前年比)が市場予想通り+2.8%となり前月に比べ鈍化したことを受けて、米国長期金利の上昇は一段落するとみていること、②ドル円が企業の想定レートを上回る円安水準で推移する中、企業業績に対する上方修正期待が残ること、③バリュエーション面で割安感があること、④テクニカル面において、TOPIXの騰落レシオ(25日移動平均)が104%まで低下するなど過熱感が解消されたこと、⑤副大臣や政務官を含め第4次安倍改造内閣の体制が確定したことを受けて、今後具体的に検討される経済対策への期待が高まることなどから、反発に転じる展開を予想します。

その他の注目材料として、日本では9日の景気ウォッチャー調査や10日の機械受注、米国では10日のPPIや11日のCPI、12日のミシガン大学消費者信頼感指数、国際では11～12日にかけて行われるG20財務相・中央銀行総裁会議や12～14日にかけて行われるIMFと世界銀行年次総会などが挙げられます。



朝日ライフ アセットマネジメント株式会社
Asahi Life Asset Management Co.,Ltd.
URL: <http://www.alamco.jp>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会